

Theatre B ウェストエンド公演台本

アフリカ・オンライン 怒濤編

作・演出 萬野 展

登場人物

サリー 院長。（長岡由起）
アイリーン 看護婦。（佐々木智秋）
ジャック 看護夫。（籬英夫）
フランク 看護夫。（松山聖二）
ノーラ 看護婦。（宮崎奈々）
エド 医師。（村上佳久）
オファメイ 医師。研修医。（大石紗綾香）
カーリー 婦長。（山川彩）
クリス 医師。（小高慶二郎）
ジェーン 看護婦兼事務長。（尾田麗）
ポール 看護夫。（金子好之）

【注記】当脚本の著作権は萬野展が保持する。当脚本の無断上演を禁ずる。

浪越医院、長期入院棟、職員詰め所。
真夜中。

舞台上の看護婦たち（アイリーン・ジャック・フランク・カーリー）がいる。
看護婦たちはお互いを英語名の通称で呼び合っているが、すべて日本人である。

時計の鐘が十二時を打つ。

アイリーンと呼ばれる女（以下アイリーン） … 左足にむくみ。

一同 …。

アイリーン 早朝に高熱を発することあり。血糖値高し。

ジャックと呼ばれる男（以下ジャック） はいッ！

ジャック、床に並べたカルテの一枚をパンと叩いて取り上げる。

アイリーン ハイ来たあ。

ジャック 二号室の多々良さん。

アイリーン プー。

ジャック あれえ…

カーリーと呼ばれる女（以下カーリー） あの人血糖値低いじゃないの。

ジャック 他にいたっけかあ…？

アイリーン （続きを読む）…しばしば院外に抜け出し買い食いの癖^{くせ}あり。

ジャック あっ。

カーリー はいッ！

ジャックより一瞬早くカーリーが取る。

カーリー 五号室の蜂谷さん。

アイリーン はい正解！

ジャック あの人そんなことしてんの？

カーリー 常習犯よ。

アイリーン はい。カーリー、5枚目。

ジャック おれ三枚。

一同、フランクと呼ばれる男（以下フランク）を見る。
フランクの手には一枚のカルテもない。

フランク …。

一同 …。

アイリーン いきます。…朝夕に一度ずつ、長時間に渡りトイレに入り…

カーリー・ジャック はいッ…！

ジャック あ畜生ッ。（カーリーに取られる）

カーリー・ジャック 六号室の^{あまがす}甘粕さん。

アイリーン はい、有名なトイレ立てこもり犯・甘粕。正解。

ジャック あの人さ、いったいなにやってるわけ、トイレのなかで、毎日毎日。

カーリー しかも朝晩ね。

ジャック 朝晩ていつか、昼間一瞬だけ外に出てくるよね。あとはほとんど一日中トイレのなかにいるじゃん。なにしてんのかなあ……。

アイリーン それは謎。はい、カーリーさん六枚目。
ジャック おれ三枚。

一回フランクを見る。

フランク …。

一同 …。

ジャック …がんばれよ、フランク！

カーリー 全然気持ちが悪くない。

ジャック いや、このへんで名前呼んどかないと、存在することをやめてしまつかもしれないからな……。

カーリー 存在してる？ フランク。

フランク、頷く。

カーリー してるって。

ジャック おいフランク！ 元氣出せ！ 気合い入れてけ！ おうっ！

カーリー うるさいわね夜中に……

アイリーン なあ、夜中にうるさいってばさあ……

カーリー ん？

アイリーン 長期入院の連中、最近夜うるさくない？ 今日はずいでもないけど……

カーリー ああ……

アイリーン なによ。なんかあんの？

ジャック この前吉角のじいちゃん亡くなったろ？

アイリーン うん。

ジャック あのじいさんの持ち物、引き取り手がなくてまだほったらかしなんだけど……
そのなかに……実は……

アイリーン なによ、とつとつと言えよう。

フランク 時価一億のダイヤが入っているんだそうだ。

ジャック ああつ、一番いいところで存在を主張しやがって。

アイリーン ダイヤ？

カーリー ダイヤあ？ あたし株券だって聞いたよ。

アイリーン 株？

カーリー 凄い値上がりしてて、売ると一億はくだらないって。

ジャック 違う。

アイリーン 何が。

ジャック 俺が聞いたのは、土地の権利書だって話だぞ。

アイリーン 土地ってどこの土地だよ。

ジャック 日本全国だよ。

カーリー 全国って……全部ってこと？

ジャック いや……全部ってどうか……点々と。

カーリー ……てんでん？

ジャック なんでも、戦前の日本電力からひそかに受け継がれたもので、日本全国のすべての電柱が立っている、あの丸い土地の、権利書。

カーリー・アイリーン はあー？

ジャック あの丸い土地は、電力会社のものなんだって。だからこういう…丸い単位で点々と、土地を持っているわけね。それを全部合わせるとなんと時価数兆円と
いう…

アイリーン 馬鹿じゃないの。

ジャック やっぱ、それは嘘だな、と、思ったな、俺は。

フランク そんなこんなで、吉角さんの遺品をめぐって、さまざまな揣摩憶測が飛び交い、このところ入院患者たちは騒然としているわけだ。

ジャック …なんでそういうまとめ方をするんだ、おまえは。

アイリーン ああ、馬鹿馬鹿しい。ほら、次行くよ。えーと…

アイリーン、カルテを繰る。

ノーラ、登場。

ノーラ あれ、なにしてるの？

カーリー ほら…。

ジャック あー…。

ノーラ あ、カルテカルタ？ あたしもやっていい？

ジャック ああ、うん、えーと…

アイリーン はい、やめやめ！ 終わり。カルテ返して。

アイリーン、みんなのカルテを集める。

アイリーン ちょっと窓開けよう。空気悪い。

ノーラ あ、あたしが…

アイリーン いいよ自分でやる。

アイリーン、さっさと窓を開ける。

一回、しらっとしている。

ノーラ …でもさ、カルテカルタやってると、先生たち怒るけど、看護婦にとってはさ、

患者さんの状態を頭に入れるのには、いいトレーニングになるよね。

アイリーン なんか言ってるぜえ。

カーリー あらそう？ 患者さんがまた騒いでんのかなあ？

ノーラ …。

ジャック …キツう…。相変わらず熾烈だなあ…

ジャック、女同士の確執（というかほとんどイジメ）に、口を差し挟む余地がない。

ノーラ …やっぱり蒸し暑いね、ジュースでも買ってこようかな。みんなは飲む？ あ

たし買ってくるよ。

アイリーン、カーリー、完全に無視。

ノーラ、ジャックたちを見る。ジャック具合悪そうに、要らない、と手を振る。
フランク、ノーラを見ていない。

ノーラ そうだ、五号室の蜂谷さんんだけど、ゆづへまた抜け出しちゃったみたいで、まだ帰ってこないの。そろそろマズイかな？

アイリーン なにそれ、あんだ、あたしに言ってるの？

ノーラ え…そうじゃなくて…

アイリーン 申し訳ないわね、五号室の担当はあたしさんだけだね、監督不行届でした、以後気をつけます。

ノーラ そんなこと…そうじゃなくて…

アイリーン さあて、巡回してくっかあ。

ノーラ あ…あたしも…

アイリーン カーリーさん、おつきあい願えますか。

カーリー はいはい。アイリーンさん、カルテをどうぞ。

アイリーン (受け取って) どうも。

カーリー じゃあね、お先。

カーリー、退場。

アイリーン あのね、言っとくけどあたしら別にお勉強のためにこんなことしてんじゃないの。退屈しのぎにやってんの。あんたみたいないい子ちゃんの優等生といっしょにされると恐縮しちゃって…。

ノーラ あたし、別に…

アイリーン (ジャックたちに) じゃあね、お騒がせ。

アイリーン、退場。

沈黙。かなり気まずい沈黙。

ノーラ …(ジャックたちに無理に笑いかける) アイリーン、今夜は機嫌悪いね。

ジャック うん、まあ…

ノーラ あたし…、あたし、そんなにいい子ぶってるかなあ？

ジャック いや…そんなことないし…

ノーラ 普通にしてるんだけど…

ジャック うん…そうね…

ノーラ、やや涙ぐんでいる。

ジャック ああまずい…それはまずい…女の子に泣かれると…逆ギレする……うっ…

ジャック、豹変する。

ジャック うおらッ！ 泣くなッ！ 泣くなッ！ 泣くなッ！ 泣くなッ！ 泣くなッ！ (戻る) ああゴメン。君のことじゃないんだよ…他に誰がいるんだろっ？…あのね…(切れる) (泣くんじゃねえッ！) 戻る…(戻る) セクハラだよねえ…ホントごめん…悪気はないんだけど…悪い癖なんだ…(うっ) (切れる) (泣くなッ！) てったら泣くなあッ！

ノーラ 泣いてないよッ！

ジャック 泣いてんじゃねえかッ！

ノーラ 泣いてないッ！

ノーラ、ぐくぐくと目をこすって、

ノーラ ほらッ！（顔を突きたす）

ジャック （よく見る）…ああ…泣いてない…泣いてないぞ…しっかりしろ、落ち着け、俺。

フランク、すつと窓に寄り、空を眺める。

フランク ああ、いい月だな…。

ジャック なんておまえはそついつまとめ方をするッ？

ノーラ …ホントだ。まん丸だあ…。

フランク ちよつと欠けてるんだよ。

ノーラ そつ？

フランク 月齢十六日だからね。満月は昨日だったんだよ。ほら、よく見てごらん。右

下のほう。

ノーラ ホントだ。

ジャック …。あの、お話中まことに失礼ですが。

フランク はいはい。

ジャック 私、言い忘れていたことがありまして。

フランク なんででしょう。

ジャック ええ、実はですね、今度外科に新しい先生が来るんですよ。それでささや

かながら歓迎会を開こうという事になってまして。

ノーラ 新しい先生？ そうなんだ。

ジャック まあ研修医なんで、そう長くはないんでゲス…それで、あつしがその幹事

を仰せつかりまして、ええ。

フランク なるほど。

ジャック ええ、で、まあそいつを明晩やりやすんで、ひとつこ来臨のほどよろしくと

こういうわけだけでして、えっへっへっへ。

ノーラ みんな出るの？

ジャック 先生方とあつしら必殺看護人グループ全員参加の予定でげす。

フランク どこで？

ジャック 入院棟ホールにて。なにせ予算僅少なもんでして。

ノーラ あたし、どうしよう…

ジャック そつですな、自由参加ですから、まあご自由に…

ノーラ でもあたしがいると、きつとみんなが嫌がるから…

ジャック ああ、そつですなあ。…ああ、イヤイヤ、そんなことは決して

ノーラ ない？

ジャック ない！…と言い切れなくもない、と、いうこともなく、えー、可もなく不可

もなく…

ノーラ やっぱり…やめておこつかな…

ジャック うん、そつですな。

フランク 出ます。

ジャック ん？ ああ、フランクさん出席ね。

フランク 出ましよう。

ノーラ え？
フランク ノーラも出ます。

ジャック 出ますってあなた、そんなことあなたが決めることじゃないでしょうが。
フランク 出ますよ。

ノーラ ……。
フランク ね。
ノーラ ……つん…出る。

ジャック 出る！？

ノーラ 出ます。

フランク 出ます。

ジャック ……。

ジャック、フランクを引っ張って行って、なんで余計なこと言っただおまえは！
……身振り。
フランク、黙ってつぶらな瞳でジャックを見ている。

ジャック ……（ノーラのほづに戻ってくる）あのね、ノーラ、ぶっちゃけた話しちゃう
とね、アイリーンたちとつまくやろつなんて思わないほづがいいよ。

ノーラ ……。

ジャック しょせん無理だよ。こついつのは理屈じゃないからな。…おれもこつ長いから、だいたいわかるんだけど、結局どつちかが病院かわって出ていくまで絶対解
決しないんだよ、こついつの。なんていつの…犬猿の仲っていつか、不倶戴天な
のよ。あなたとアイリーンたちはね。

ノーラ つつん…あたし、そんなつもりじゃないの。仲良くなるつとか、機嫌とつつと
か思っって言ってるんじゃないの。

ジャック じゃなに？

ノーラ よくわかんないけど、あたしはあたしでしかないから…そりゃあ、他の人と仲
良くやればいいけど…好かれたいけど…でも結局あたしはあたしだから。

ジャック ……そついつところが犬猿のモトなんだけどね…。じゃあ、いいのね？

ノーラ はい。あたしも参加します。

ジャック わかった。

ノーラ あたしも巡回いくわ。じゃ。

フランク それじゃ。

ジャック ……。

ノーラ、退場。

ジャック どうなっても知らないからな、おれは。

フランク ……。

ジャック なんかあったら、おまえ責任とれよ。

フランク ……。

ジャック 存在を消すな、存在を！

暗転。

2

入院棟、職員詰め所。
サリー、エド、クリス。

サリーと呼ばれる女（以下サリー） んー…（考えつつ）
男ふたり…。（じっと待っている）

サリー なんちゅうか…

エドと呼ばれる男（以下エド） なんでしょう。

サリー 人生、勇気だね。

エド …はあ。

サリー 大事。勇気は大事よ。の。

エド そうですかね。

サリー 反論して、反論。

エド 人生は、やはり愛じゃないでしょうかね。

サリー 愛。

エド 愛。

サリー クリス先生、どう？

クリスと呼ばれる男（以下クリス） …。

サリー 反論して。反論に反論を重ねて。

クリス えーと…人生は…人生は知恵じゃないすかね。

サリー 知恵。

クリス 知恵。叡知。

サリー 処世術ってこと？

クリス そうともいいいます。

サリー …っん。

サリー、考えつつ、

サリー 知恵ね、愛と知恵ね。

クリス はあ。

サリー 反論するよ反論するよ。

エド どうぞ。

サリー … やっぱさ、年を重ねることに、愛はそれなりに育まれ、知恵はそこそこ磨かれてくわけよ。でもね、勇気はだめ。

エド だめとは。

サリー 大事なものっていうのはさ、量です！ 少ないものに価値があるわけ、なにことも。希少価値よ。だからね、やっぱ勇気じゃけん。勇気は目減りする一方ですけん。

エド 院長どこの生まれですか。

サリー 反論して反論して。

クリス 院長。

サリー はい、クリス先生。

クリス どうでもいいんですけど、いつ来るんすかね。

サリー なにが。

クリス 外科の人が研修にくるっていう話じゃなかったんですか。

サリー 来るよ、今日来る。凄いですよ。秀才で天才でエリートの人。どこそこの、どこそこの学部トップ卒業。

エド ドコソコ学部って…医学部じゃないんですか。

サリー あ、医学部。そう…その確率は高い。

エド いや、確率とかじゃなく。

サリー それでね、何を間違えたかうちみたいなへんぴなとこに研修当たっちゃってね。今日来るんだよ。だから君たちふたりに、いろいろその先生の世話をしてほしいんです。

エド それはわかってます。それでさっきからずっとここで待ってるわけなんです。

クリス いつ来るんですかね。

サリー …来ないかも。

クリス・エド はあ？

サリー いや、来るよ、きつと来る。待とう！

エド 待とうはいいいですけど、じゃあ、来たらあらためて呼んでもらえますか。僕らまだ仕事があるんで…

サリー 仕事あるの？

エド そりやありますよ、仕事しに来てるんですから。

サリー そうか、…仕事はまだあるのか…。よかった。

エド どうしたんです。

サリー いつまで仕事があるんだろうか。

エド はあ？

サリー ずっとあるといいなあ。

エド …。

サリー 思えば父の代から受け継いだこの病院。時代の流れには取り残され、固定資産税に喘ぎ、看護婦不足に悶え、設備投資もままならぬ手元不如意に息を切らせて数十年…。

エド 院長、いくつなんですか。

サリー 長かったなあ…

エド 院長？

クリス エド。

エド …ん。

クリス エドを引っ張って院長から離れ、ひそひそ話。

クリス まさかとはおもっただけ。

エド なに。

クリス やばいんじゃないかな。

エド なにが？

クリス …。

エド ここ？ この病院？

クリス ン。

エド そりゃあ、経営状態悪いのは知ってるけど…だけど今日明日潰れるって話じゃないだろっ…

クリス 実はな、噂に聞いたんだけど…

エド …。

クリス この土地買い取ろうっていう企業があるらしいの。

エド 買い取る？ 買い取ってどうすんの、こんなところ。

クリス そこまでは知らないけど、そういう話があるみたいです。

エド (院長のほうを窺う) 売るつもりかな…

クリス さあ…

サリー 売りたいくはない。

エド うわ。

クリス なんて聞こえるんだ。

サリー 君たちの足下に隠しマイクが仕込んであるからだ。

エド 嘘いいなさい。

サリー 嘘ではない。本当に売りたいくはないんだよ。

エド あ、そっちな…

クリス 売りたいくないけど…売っちゃうんですか？

サリー だから…迷っている。

エド・クリス …。

サリー どうしようか…。どうしたらいい？

クリス いきなり聞かれても…なあ。

エド うーん。

そこへ、研修医オフアメイ登場。

オフアメイと呼ばれる女(以下オフアメイ) あおう…。こちら院長先生の…ああっ。

エド・クリス あ。

そこらへんにあるモノに蹴つまつき、転びそうになり、別のモノにつかまろうとしてそれを倒し、あわててそれを起こそうとしてそれを蹴飛ばし、結局ころぶ。

エド・クリス …。だいじょうぶですか。

オフアメイ ごめんなさい。そそっかしくて…ほんと、すみません。

エド あ…お怪我ありませんか。

オフアメイ だいじょうぶです、すみません。

クリス 血出てますけど。

オフアメイ いやっ、ホントお気遣いなく、だいじょうぶですから。あの、こちら院長

先生の…

打撲が痛むらしく、絶句している。

エド 痛そうですね。

クリス 治療したほうがいいんじゃないですか？

オフアメイ いえっ、ホント、お気遣いなく…

と言いつつカバンから注射器をだして自分の足に打つ。

エド …。

クリス それなんですか？

オフアメイ いえ、ちよつと。

クリス 痛み止めですか？

オフアメイ 麻酔です。だいじょうぶです。

エド 麻酔！？

オフアメイ だいじょうぶですから。同麻ですから。

エド・クリス …。

オフアメイ (注射を打ち終わって大きく息をし) (こちら院長先生の…

クリス ああ、そつです。あの、あなたが…

オフアメイ すいません、遅刻しちゃって…あの、あの、わたくしですね…

といいながら荷物の中をガサガサ探る。

書類をさがしているらしい。

オフアメイ えー…あれ…(ない)

エド・クリス …。

オフアメイ どこいったんだろ…あの、書類が…少々お待ちを…えい、この…

オフアメイ、カバンの中身を床にぶちまける。

エド あの…

オフアメイ あれえ…(ないらしい)

オフアメイ、自分の体をさぐりはじめる。

すべてのポケットを裏返す。

ウェストポーチを力づくで引き裂く。

エド・クリス あの…、あの…

オフアメイ えいッ！ このッ！ ふんッ！…あつ。

オフアメイ、ぼろぼろになった書類の切れ端(3センチくらいになっている)を手を

オフアメイ あつた、これだ…。あの、お待たせしました。わたくし、このたびこちら

ナミコシ病院に研修に…

オフアメイ、院長に近寄ろうとしてころぶ。

エド・クリス あ。

オフアメイ あの…あれ、

オフアメイ、立とつとしてそこからへんにあるモノにつかまり、それとともに倒れる。
エドとクリスが慌てて助け起こす。

オフアメイ あ、すいません、だいじょうぶです。あのわたくし…

オフアメイ、ころぶ。

足に打った麻酔が効いているらしい。

エド おおつと。

オフアメイ …あれえ？…ちよつと足が…

クリス 麻酔が効いてんじゃないでしょうか？
 オファメイ いやっ、もうホント…ホントだいじょうぶ…

オファメイ、足に力が入らず、エドとクリスを引き連れてくるぶ。

エド・クリス わあ。

オファメイ あ、こちらが…

またころぶ三人。

オファメイ …あの、こちら、こちら院長先生…でしょうか？

サリー、足下まで来たオファメイの前にしゃがみ、手を出す。

サリー 院長のサリーです。

オファメイ あ、恐縮です。大平です。

握手。

サリー たいへん優秀な方だと聞いています。どうぞなんでもおっしゃってくださいね。
 オファメイ ありがとうございます。…あの…サリーって？

サリー 院長の、サリー、です。
 オファメイ …？

クリス ああ、お気になさらずに。うちの習慣で、みんな愛称で呼ぶんですよ。

オファメイ 愛称？

クリス 内科と産科のクリスです。

オファメイ どうも…

エド 外科のエドワードです。エドって呼んでください。

オファメイ …ハイ。あの…大平です。

エド・クリス オオヒラ…。

オファメイ ハイ…。

エド 院長。

サリー ……。

エド オオヒラ。

サリー …… オファメイ。

エド・クリス (につこり) よろしく、オファメイ。(握手)

オファメイ あ、こちらこそよろしく。

三人、ようやく立ち上がる。

サリー オファメイ先生、さっそくだけど…

オファメイ はい？

サリー どうしたらいいと思う？

オファメイ なにがでしよう？

サリー ここ、売った方がいいかな？

オファメイ はあ？

エド 院長、なにもそんな話今しなくなっただけいいでしょうに。
 オファメイ 売る、とおっしゃいますと？

クリス いやあ、まあその話はあとでゆっくりと…とりあえず、中、ご案内しましょう。う。な？

エド そうだね。院長、それでいいですね？

サリー お気をつけて。

エド はい。

オフアメイ はい、あの、それでは今日から宜しくお願いいたします。失礼いたします。

オフアメイ、両肩をエドとクリスに支えられながら、退場。

3

ホールにて、院長がモニタを見上げている。
ジャック登場。

ジャック あれ、院長。いらつしやっただんですか。
サリー ああ、ジャック。

ジャック これから、歓迎会の準備をしますんで…
サリー そう。ごくるさま。

ジャック …あの、どうかなさいました？

サリー いや…別に。

ジャック …。

院長、悩み深げにモニタを見つめている。

サリー …ジャック？

ジャック は。

サリー これ、いつからあるんだっけ？

ジャック さあ…私 came ときからありますが。

サリー これ、売ったらいくらになるかな？

ジャック 売ったら…これは…売れないと思いますがね。

サリー 売れないの？

ジャック こんなもの買う人はいないでしょう。なにせ古いですから。

サリー そうか。

ジャック 患者さんたちのあいだじゃ、いろんなウワサになってるみたいですけど…
ともと経理事務で使ってたんでしょ、これ。

サリー そつらしい。

ジャック 今は新しいのが入ってますからね。どっちかと言つて、捨てるのにも金がか
かるからほつたらかしてあるってことだと思ひますが。

サリー そう…。

ジャック どうかしたんですかね？

サリー いや、いいんだ。

ジャック …。

サリー あのさ。

ジャック はあ。

サリー うちにある救急車、売ったらいくらになるかな。

ジャック はあ？

サリー 救急車。売れないかな。

ジャック 売れなくはないでしょうけど…救急車売ったらまずいでしょう。

サリー まずいか。

ジャック だって、どうするんですか。買うんですか？

サリー …買う？

ジャック 救急車新しく買うんですか？

サリー アタラシク、カウ？（微笑を浮かべる）気でも狂ったの？

ジャック ……こっちのセリフのような気がします。

サリー ……。

ジャック 院長！

サリー おじゃまさま。仕事、続けて。

サリー、退場。

ジャック ……。

ジャック、退場。

オフアメイ、ノーラ、エド、登場。

オフアメイ アフリカ？

ノーラ そうなんです。

エド アフリカの草原に、無人の観測カメラが据え付けてあるんだそうです。

オフアメイ へえ…

ノーラ 十年くらい前からあるんだそうですよ、その噂。

オフアメイ 衛星経由で映像が送られてくるわけ？ なんだか壮大なハナシね。

エド まあ、どこの病院にもよくある怪談とか与太話の類ですよ。

ノーラ 作り話としても、ずいぶん時代を先取りしてますよね。そんな頃からインターネットってあるのかしら。

オフアメイ インターネットそのものは八十年代の後半からあるわよ。

ノーラ 二十年以上前…。

オフアメイ もっともそのころは、国防総省と大学だけのコンピューター・ネットワークで、千台くらいのホストを繋いでいたにすぎないけど。それが九十年代の終わりには全世界で二千万のホストを繋いで、百万以上のウェブサイトを包括するようになったんだから…。

ノーラ 凄いですね。

オフアメイ そうね。今じゃ新しいサイトが登録される割合は一日に三万件。ライブカメラもどんどん増えてるし…実現可能な作り話よね。

エド そうですね。だけどここの時代じゃ無理でしょう。見るからに年代物ですからね、これは。

オフアメイ これ、電源は入るの？

エド さあ…。誰も入れたことないんじゃないかな。

オフアメイ アフリカ・オンラインか…なんかロマンチックなようない…そうでもないようない…

ノーラ ロマンチックだと思います、あたし。

エド この棟は長期入院専用で、退院の見込みが立たない患者さんが多いんで…まあ、あこがれるんでしょうね…青い空とか…広い土地とか…

オフアメイ ……治りたいのよ。きつと。

エド え？ ええ、そうでしょうねえ。

オフアメイ アフリカって、そういう…なんていつか、土壤があるでしょう？ 西洋医学でも、東洋医学でもどうにもならないようなことを、どうにかしてくれような…

エド ウィッチ・ドクターってわけですか？

ノーラ ウイツチ・ドクター？
 オファメイ そう。不思議な力で病気や怪我を治してくれるお医者さん…。
 ノーラ へえ…。

エド 魔法医だよ。アフリカにいるんだ。今でもいるんですかね？
 オファメイ どうかしら…。(会場を見回して)(これで全部？)

エド ああ、えっと…、だいたい全部いるかな。

ノーラ ポールがいませんね。

エド ああ、彼は非常勤だから…

オファメイ ポール？ ドクターなの？

エド いやいや、看護師です。看護師だよな？

ノーラ さあ…

オファメイ さあ、つてドクターでも看護師でもなきやなに？

エド (考え込む)うーん…あれは…。なんていうんだろう…。

ノーラ リーダーですね、ポールは。

オファメイ リーダー？

エド そうだな。

ノーラ リーダーですよ。

オファメイ リーダーってなに？

エド うん。リーダーとしか言いようがない、あれは。

オファメイ …はあ。

アイリーン、カーリー、クリス、やや離れた場所に登場。

アイリーン あれ？ 新しい先生つて。ずいぶん若いじゃないですか。

クリス うん。腕はいいみたいだけど…。

カーリー けど、なんです？

クリス …うーん。性格が…つかめない…

カーリー なにそれ？ 危ない性格してるの？

クリス …危ないっていうか…危なっかしい…っていうか…

カーリー はあ？

アイリーン おーおー、さっそくへばりついて胡麻すっちゃって…

カーリー これだから優等生は…

アイリーン 反吐が出るわよ。

クリス …相変わらずだなあ、君たち。なんでそんなに嫌いなんだよ。いい子じゃない

か、あの子。

アイリーン …。「いい子じゃないか、あの子。」

クリス …いや…あ…

カーリー、手帳を取り出して何事か書いている。

クリス あれ…な、なに書いてるのかなあ…？

カーリー 別に。

クリス …。気になるなあ…。

カーリー どうぞお気になさらずに。(手帳をしまつ)

クリス あ…。

アイリーン 別に理由なんかありませんね…。ただね、たとえばもしあたしが中学生
 だったら…

クリス 中学生？ そりゃいささか設定に無理が…

カーリー、手帳を取り出して書き始める。

クリス ああつ、なんでもないです。中学生だったら？

アイリーン あたしが授業サボって喫茶店でタバコ吸ってる時、あの子は教室の一番前
 に座ってノートを五色に塗り分けてる…。そういうことよ。

クリス うむ…。わかったような…。わからんような…

アイリーン ねえ、今日ポール来ないの？

カーリー 今日は非番じゃないかな。でもジャックが電話してたから、来るかもね。

アイリーン 来るのか…。あいつ苦手なんだよな…。

クリス えつ。君にも苦手なものが…

カーリー、手帳を開きかける。

クリス …あるよね、当然ね。人間ね。誰しもね。

アイリーン 苦手うちゅうか…波長が違いすぎるうちゅうか。

カーリー なにせりーダーですからねえ。

アイリーン カーリーのセクハラ手帳に名前が出てこないのはあいつだけ。

クリス …なるほど。

フランク、登場。

フランク えー、皆さん！ お集まりの皆さん！

一同 ……(注目)

フランク 宴もたけなわでございます。

一同 ……(次の言葉を待っている)

フランク、退場しようとする。

一同 おい待て！ こら！

フランク ……

エド 続きは！？

フランク ……

クリス 普通、タケナワではございますが、が！ だろ！

エド 断言してどうするんだ！

フランク ……

エド 存在を消すな！

フランク ……が！

クリス わ、びっくりした。

フランク このへんで院長から一言ご挨拶をたまわりたいと思います。

クリス そういうことか。

エド やってくれやってくれ。

フランク ……がッ！

クリス わあ。

エド が！ はもういいんだよ！
フランク ……院長、どうぞ。

サリー、登場。

サリー 諸君、夜遅くまでご苦労さま。院長のサリーです。本日は新任の先生を迎え、たいへんめでたく思うしいです、…が！

クリス あんたもか。

サリー 実は…悲しい報せがある。

クリス いきなりか。

エド 院長、歓迎会なんですから！

サリー 当病院の経営状態の悪化については、皆さんも薄々ご承知と思うが…なんとか打開策を見つけようと帳簿等を整理していたところ、重大な事実が浮かび上がってきた。…が！ わたしの口からは、このような事実を明らかにするに忍びない。事務長から説明してもらおう。ジェーン。

ジェーン、登場。

ジェーンと呼ばれる女（以下ジェーン） ハイ。看護婦兼事務長のジェーンです。みなさんお久しぶり。

アイリーン 出た…。

ジェーン アイリーン！ まだいたのあなた！

オフアメイ 看護婦兼、事務長？

アイリーン いるわよ。いちや悪いの？

エド 看護婦で入ったんですけど…

ジェーン うん。そんな意味じゃないのお。あたしと同期の人がまだいてくれてカンゲキ！ つてこと。頑張ってるう？

アイリーン あんたのかわりにせっせと採血してるわよ…。

エド 血を見ると百パーセントの確率で失神するんで、事務に回されたんです。

ジェーン えー、それでは発表します。いいですか、院長？

サリー うん。いい。やって。

ジェーン えつと、院長のおっしゃってる重大な事実っていうのはあ、要するに帳簿が合わないんです。

エド 合わない？

ジェーン この一年間のあいだに、月に数十万から数百万単位で誤差が出てるんですね。上手に隠してあるんですけど、詳しく調べたらわかりました！

クリス つまり…どういうこと？

ジェーン 要するに、この病院の金庫からお金を持ち出している人がいるんですね。

エド 横領…。

ジェーン それも病院の内部の人で、帳簿をいじれる人でえ…それで…

アイリーン 一年前にこの病院に来た人。

全員がノーラを見る。

ノーラ ……あたし…あたしは…

カーリー 一年前に入つて来たのはあなただけよ、ノーラ。そうよね？

ジェーン まあ…そんなんですけど…でも別に証拠があるわけじゃないしね…
ノーラ …あたしじゃない…。

フランク ええ、皆さん！

一同 …。

フランク 宴もたけなわではございますが！

一同 …。

フランク 憶測でものを言ってもなにも解決はしません。愚考するに院長も、いたずらに横領犯を追求するためにこのハナシを持ち出したわけではない。問題はこの病院の存続が危ぶまれているということですよ。そうですね？

サリー ありがとうフランク。そうです。わたしはこの件を表沙汰にする気はない。問題は、問題は、今なんとかしないと、一ヶ月後にはこの病院は人手に渡るといことです。

クリス 一ヶ月後？！

サリー ギリギリです。八月十五日の夜中の零時を持って、この病院の敷地は、有限会社ナンタラ産業の所有地となります。

エド 相手の会社くらい覚えとけよ。

サリー はっきり言って地上げ屋です。

クリス 地上げ屋か…ヤクザがらみですね、きっと。

サリー その通りですね。

カーリー それじゃこの病院はどうなっちゃうんです？

サリー ラブホテルになる予定ですけん。

エド ラブホテル…！？

サリー それはそれで素敵…いやいや、そうじゃなく、いいですか、まだ間に合つんです。このなかに横領犯の人がもしいたら…どうか、横領したお金を返してもらいたい！ いくらだっけ？

ジェーン 一億あれば急場はしのげます。

クリス 一億…？

サリー 今なら間に合つのです。警察に訴えてノンビリやってる場合ではない。横領の件は不問にします。横領の人、どうかひとつ！

サリー・ジェーン・フランク よろしくお願いします。(頭を下げる)

サリー これをもって、院長のアイサツに変えさせていただきます。では。

サリー、退場。

一同 …。

エド どうかよろしくって言われてもなあ…。

カーリー ちょっとへビーなハナシよねえ…。ねえ、ノーラ？

ノーラ …。

クリス よせよ、なにもはっきりしたことはわかつちやいなんだから。

カーリー あら、あたしは別ににも言っていないですよ。はっきりしてるのは、この中の誰かのおかげでこの病院もあとひと月の命ってこと。

エド 君がそんなに病院思いとは知らなかったな。

カーリー どういう意味ですか、それ。

エド いや…別に…あの…書かないでね。

オフアメイ…あのお、あたし席外したほうがいいかしら？

クリス いいですよ、ここまできたら一緒でしょう。

アイリーン ジェーン、あんたさっき、帳簿がうまくまかしてあるって言ったわよね。
ジェーン うん。

アイリーン うちの帳簿ってコンピュータ処理してるんでしょ？

ジェーン そう。だから内部の人だと思っわけ。うちの経理ってクロードシステムだから、外から侵入されるはずないの。

アイリーン なによそれ、どういふことよ。

ジェーン だからあ…えーと、どう説明すればいいかな…

アイリーン あたしにわかるように説明して。

ジェーン …（非常に難しい顔をして黙る）

アイリーン なに考え込んでんのよ！

オファメイ ネットワークに繋がってないシステムってことよ。ハッカーっていうのは外から侵入するでしょ。外部に繋がってる線がないシステムに対しては、ハッキング不可能なわけ。

ジェーン ただ…

カーリー ただ、なに？

ジェーン ちょっと変だなんて思うのはね…電話代が時々、異常に高くなってるのよね。
クリス 電話代？

ジェーン まるで、誰かが定期的にオンラインを使ってるみたいに…

全員が、反射的にモニタのほうを見る。

ジャック、走り込んで登場。

ジャック ……（息を切らせている）

アイリーン どうしたの、ジャック。

ジャック せん、先生！

エド どうしたんだ、ジャック。

ジャック 3号室の菅井さん…

エド 菅井さんが？

ジャック …急変です！ 意識不明！

全員が、いっせいに動き出す。

ジャック、クリス、フランクで患者（物体）を運び込む。

アイリーンとノーラは医者たちに手術着、手袋等を渡し、自らも着用する。

エドはカルテを持ち、オファメイと患者が運び込まれるのを見守る。

カーリー、ジェーン、クリスは機材の用意をする。

クリス、ジェーン退場。

エド そつと頼むぞ。そつと！

患者（物体）が横たえられる。

その前にオファメイ、エドが立つ。

オファメイ カルテは。

エド これだ。菅井真理子。

オファメイ …。

オファメイ、カルテに目を走らせる。
アイリーン、ノーラ、ジャックはやや離れたところに集まる。

アイリーン … たぶん輸血よ。

ジャック 型は？

ノーラ 菅井さんは… AB。

アイリーン 足りないかもしれない…。ジャック。

ジャック わかった。

ジャック、退場。

カーリー、フランクは機材の準備を終え、退場。
入れ替わりにアイリーンとノーラが手術台に近づく。

オファメイ … エピネフリンは？

アイリーン あります。

オファメイ 用意して(アイリーン動く)…プロカイン注。(ノーラ動く)…それから…

輸血の用意。

エド 開ける気か？

オファメイ それしかない。

ノーラとアイリーン、患者のまわりで忙しく作業する。

ノーラ プロカイン注、よし。

アイリーン 先生… 血圧が、… 低すぎます。

オファメイ O₂、CO₂ミックス。(ノーラ動く)

エド 無理だよ、オファメイ…。

アイリーン 呼吸停止。

アイリーン、ストップウォッチのスイッチを押す。

オファメイ エド！

エド、患者に取り付いて人工呼吸をはじめ。

アイリーン 呼吸停止から十五秒経過。

ノーラ 心電図平坦^{フラット}！

オファメイ … ちいっ。

オファメイ、エドを押しつけ、心臓と思しき部分を拳で力まかせにドーンと叩く。

オファメイ … このッ！

オファメイ、力任せに拳を叩きつけ続ける。

エド おい！ よせ！ 肋骨が折れるぞ！

オファメイ 心臓が動きさえすればいい！ (叩く)

エド 患者はモノじゃないぞ！

オファメイ わめくだけなら外に出てやって。

アイリーン 二十五秒経過。

オファメイ 動け!...このッ!

両手でドンッ! と叩く。
心電図、動き出す。

ノーラ 心拍再開!

アイリーン ...呼吸再開!

オファメイ 輸血! それから開胸の用意。早く!

ノーラ、アイリーン、機材の用意に走る。

エド 開胸!? 患部は腹だぞ。胸開けてどうするんだ!

オファメイ また止まるわ。止まったら心臓を直接マッサージして。あたしはおなかをやるから。

エド 本気が、君...

オファメイ エド。...頼んだわよ。

アイリーン 先生、準備できました。

オファメイ 全身麻酔のうえ、エドは胸部、あたしは腹部、同時に切開する。血液は? ノーラ OKです。

オファメイ 全身の血を入れ替えるくらいジャンジャン輸血して。いい? (深呼吸ひとつ)...やるわ。

手術チーム、作業に没頭する。

別の場所。

クリス、カーリー、登場。フランク、遅れて登場。

カーリー 血液届いた?

フランク 今手配してる。

カーリー 始まったの?

フランク うん。

カーリー 見込みありそう? どんな雰囲気?

フランク エドはいつも通り弱気。

カーリー 新入りの先生は?

フランク 強気。

クリス 長くかかりそうだな...

カーリー 助かる?

クリス ...そりゃ...医者以外の誰かに聞けよ...

クリス、退場する。

カーリー フランク、なに見てるの?

フランク ... (月を見上げている)

カーリー ...。

カーリー、黙っていつしよに月を見上げる。
暗転。

夜。

横たわる患者（物体）。

そのそばにポールがいる。

ポールは本を開いて、眠る患者に朗読を聞かせている。

ポールと呼ばれる男（以下ポール）「…むかし、インド洋のモーリシャス島に、ドードーという、七面鳥よりすこし大きな鳥がすんでいました。ドードーはへんな鳥でした。太りすぎていたために、飛べなかつたし、走ろつとすると、おしりが地面にぶつかってしまうのです。最高速度を出しても、よちよちかけまわるだけでした。もしかすると、自然はドードーの作り方をまちがえたのかもしれない。十六世紀にポルトガル人がモーリシャス島を発見したときのことです。船乗りたちは、こんなおかしな鳥を見るのは初めてだったので、鳥に「ドード」という名前をつけました。「ドード」とは、ポルトガル語で「おろかも」という意味でした…。」

カーリー登場。

カーリー ポール…。来てたの。

ポール うん。

カーリー また読んであげてたんだ。

ポール 仕事だからね。

カーリー 今日はなんの本？（のぞき込んで）「忘れられた動物たち」…？

ポール クリスマス島が発見されたとき、クリスマスジネズミが島をおおいつくしていた。島に人間が住みつくようになったのは千九百年。その八年後の千九百八年に調査隊が島じゅうをさがしたが、鳴き声ひとつ聞こえなかつた。原因は誰にもわからない。

カーリー …。

ポール 十八世紀、アメリカの鳥類の三分の一はリョコウバトだった。その数は数億億。冬に南へ渡るリョコウバトの群は太陽を遮り、たつまきのような轟音をたてた。二十世紀のはじめに、カナダで最後の野生のリョコウバトが銃で撃たれて、動物園にマーサというメスバトが最後の一匹になった。マーサは千九百十四年に二十九才で死んだ。

カーリー …。

ポール そんな話ばかり書いてあるね。

カーリー あんまり元気がでるような話じゃないわね。

ポール この子が持ってた本だよ。

カーリー 動物が好きだったのよね、この子。

ポール 助かるの？

カーリー わからない。ずっと昏睡が続いているの。先生たちも…なにも言わないわ。

ポール 聞こえてるよ。

カーリー え？

ポール 僕の読む声が聞こえてる。

カーリー …… 助かるかしら？

ポール、黙って微笑む。
荷物を持って、出ていく。
カーリー、残って患者を見守る。

ポール、別の場所で、別の患者に向かって、本を開き朗読をはじめている。

ポール …… 「内閣打倒人民大会が閉幕に近づくと、徳田球一は、

「いまずぐ首相官邸におしかけよ。内閣の総辞職を実現せよ」

と、国会方向を指さして号令をかけた。七万人の集會者は、「民主主義」の呪縛じゆばくにかけられている。

「行こう」

「幣原を倒せ」

七万大衆はゆっくりと、日比谷から国会へと歩みだした…

ジャック、登場。

ジャック、人の気配に気付く。

ジャック …… ああ、びっくりした。君か…。どうしたんだい、こんな時間に…。え？ ああ、まだ、なんとも言えない…新任の先生は優秀な人だ…きつとたいじょうぶ…うん、僕もそろそろ行かなきゃ…。うん、だいじょうぶだよ。僕を信じて…。うまく行くよ、必ず…。君を連れだしてあげる…。もうすぐだよ…。え？ 待って欲しい？ どうして？ どうしたんだい？ 気が変わったのかい？…次の満月まで？…わかった…。君の言うとおりにするよ。ああ、だいじょうぶ。君を愛しているからね…。

僕も行かなきゃ。じゃあ、また明日の晩…。

ジャック、退場。

暗転。

八月十五日。朝。

ノーラが居眠りをしている。

アイリーン、登場。

アイリーン ……。

ノーラ、気づく。

ノーラ ……。

アイリーン どうなの？

ノーラ …… (黙って首を横に振る)

アイリーン …… あんた、帰っていいわよ。

ノーラ ええ…。

アイリーン 替わるから。

ノーラ …… もう少しいるわ。

アイリーン、ノーラのかたわらに座る。

ノーラ もう朝？
アイリーン ええ、明けたわ。
ノーラ 今日は…

アイリーン 八月十五日よ。

ノーラ 今日で…一ヶ月たつのね…。

アイリーン そうね。…とうとう横領犯は名乗りをあげずじまい。

ノーラ …。

アイリーン あたしね、あんたがやったとは思ってないわ。

ノーラ …。

アイリーン あたしもいい加減機械オンチだけど、あんたあたしに輪をかけてひどい

じゃないの。あんたじゃないことだけは確か。あんたがそんな器用なマネしてた

なんて、あたしのプライドが許さないね。

ノーラ じゃあ…ウチで、いちばんコンピューターに詳しいのは…誰だろう。

アイリーン さあ…、どうでもいいわ、今さら。

ノーラ …そうね…。

ふたり、しばらく黙る。

ノーラ ねえ、アイリーン…

アイリーン …。

ノーラ あたしのこと、嫌いでしょう？

アイリーン …そうね。あんたは？

ノーラ どうかな…。考えたことないわ。

アイリーン そう…。

ノーラ そうね…。どうでもいい…わ、あんたのことなんか。

アイリーン (ノーラに対してはじめて笑う)…そう。

電子音がする。
患者に駆け寄るふたり。

ノーラ …。

アイリーン 血圧が…上がってる…。脈拍は？

ノーラ 正常…ねえ見て…！ この子、うつすら目を開けてるわ…。

アイリーン 菅井さん…菅井さん！

ノーラ ……反応した…！

アイリーン …もうだいじょうぶよ、あなた助かったんですよ。…ノーラ！ 助かった

わ。この子、助かったのよ！

ノーラ ええ…、ええ！

ノーラ、アイリーン、患者をいつまでも見つめ続けている。

ノーラ、アイリーン、退場。

夕刻。別の場所。

オフアメイ、エド、クリス登場。

エド 今日でこの病院もおしまい、か。

オフアメイ 結局、横領犯出てきませんでしたね。
クリス そりゃ普通出てこないでしょうよ。
オフアメイ 大変ですね。

エド まあ…しょうがないでしょう。他の病院が見つかるまで、しばらくのんびりしま
すよ。

クリス 先生も短いあいだでしたけど…
オフアメイ ええ。楽しかった。

エド 勉強になりましたよ。

オフアメイ わたしこそ…あの、どうもお世話に…

カーリー、登場。

カーリー 先生！ 八号室の笠井さんがいません！

エド 笠井さん？

クリス あの人、外出なんてできないはずだろう？

カーリー でも、どこにもいないんですよ。

フランク、登場。

フランク …。

カーリー フランク。なに？ どうしたの？

フランク ジャックから伝言だ。

カーリー ジャックから？

エド 伝言？ なんだ、どういことだ。

フランク 「突然ですが、旅立ちます。当初の予定では、お金はいたいていくはずで

したが、気がかりました…」

カーリー あの人が横領犯…だったの？

フランク 「今まで病院から拝借したお金は、とある外国の銀行口座に一括して預け
てあります。名義はこの病院にあります。一年前からの計画通り、彼女と
ふたりで世界をあちこち見て回って…その先は…どうするかよくわかりません。
さがさないでください。それではお元気で。ジャック。」

カーリー 笠井さんといっしょに…ってこと…

クリス 状況から見てそうとしか…

エド とある銀行口座ってどこだよ！ それがわかんなきゃどうしようもないぞ！

オフアメイ とにかく院長先生呼んだ方が…

エド ああ、そうだな。

エド、オフアメイ、クリス退場。

カーリー フランク？ なにしてんのよ？

フランク …「追伸。」

カーリー えっ。

フランク 「隠し口座にご用の際は、アフリカ・オンラインにてアクセスされたし。暗

唱コードその他は別紙の通り。」

カーリー …。

フランク 以上。

カーリー それを早く言いなさいよ！

カーリー、フランク、退場。

ジャックを除く怒濤組全員登場。
ジェーン、モニタの電源を入れ、システムを起動させる。

エド なにも映らないぞ…。

カーリー やっぱ壊れてるんじゃない？

アイリーン アンテナよ！ アンテナが傾いているのよ！

ポール テレビじゃないんだから。

クリス あんた黙ってなさい。

オファメイ わざとモニタを殺してあるのよ、きつと。

ノーラ とにかく暗証番号入れてみたら？

ジェーン 番号は！？

カーリー フランク！

フランク これ！

エド 院長、振り込み先の口座は！

サリー これよ。早く！ 時間がない！

ジェーン (紙を見て) とにかくこの通りやるわよ！

一連のキー操作を

一同の見守るなか、ジェーンの一連のキー操作。
モニタには変化はない。

が、いかにも「OK」っぽい電子音が鳴る。

一同 …。(深いため息を吐く)

一同、握手。

オファメイ去る。

それを見送る一同。

残った人々、それぞれの仕事に去っていく。

そして誰もいなくなった舞台上のモニタが、抜けるような青い色に変わっていく。

幕。